

# 資源株ファンド 通貨選択シリーズ 〈南アフリカランド・コース〉（毎月分配型）

## 運用報告書（全体版）

第122期（決算日 2020年1月17日） 第124期（決算日 2020年3月17日） 第126期（決算日 2020年5月18日）  
第123期（決算日 2020年2月17日） 第125期（決算日 2020年4月17日） 第127期（決算日 2020年6月17日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「資源株ファンド 通貨選択シリーズ〈南アフリカランド・コース〉（毎月分配型）」は、2020年6月17日に第127期の決算を行ないましたので、第122期から第127期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年11月20日から2024年6月17日までです。
運用方針	主として、世界の資源関連企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641200>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	純 資 産 総 額	産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円	円		%	%	%		百万円	
98期(2018年1月17日)	3,815	20		17.7	—	92.8		567	
99期(2018年2月19日)	3,609	20	△	4.9	—	97.1		526	
100期(2018年3月19日)	3,458	20	△	3.6	—	96.9		490	
101期(2018年4月17日)	3,587	20		4.3	—	95.0		525	
102期(2018年5月17日)	3,762	20		5.4	—	96.5		658	
103期(2018年6月18日)	3,338	20	△	10.7	—	96.8		593	
104期(2018年7月17日)	3,450	20		4.0	—	97.0		614	
105期(2018年8月17日)	2,896	20	△	15.5	—	82.9		518	
106期(2018年9月18日)	2,923	20		1.6	—	97.1		326	
107期(2018年10月17日)	3,081	20		6.1	—	96.9		358	
108期(2018年11月19日)	2,914	20	△	4.8	—	97.1		314	
109期(2018年12月17日)	2,592	20	△	10.4	—	97.0		268	
110期(2019年1月17日)	2,687	20		4.4	—	96.7		281	
111期(2019年2月18日)	2,793	20		4.7	—	97.0		290	
112期(2019年3月18日)	2,751	20	△	0.8	—	97.0		272	
113期(2019年4月17日)	2,918	20		6.8	—	96.6		289	
114期(2019年5月17日)	2,633	20	△	9.1	—	96.9		254	
115期(2019年6月17日)	2,426	20	△	7.1	—	97.0		233	
116期(2019年7月17日)	2,635	20		9.4	—	97.1		254	
117期(2019年8月19日)	2,121	20	△	18.7	—	97.1		203	
118期(2019年9月17日)	2,443	20		16.1	—	97.2		222	
119期(2019年10月17日)	2,206	20	△	8.9	—	97.2		200	
120期(2019年11月18日)	2,343	20		7.1	—	97.0		195	
121期(2019年12月17日)	2,508	20		7.9	—	92.7		210	
122期(2020年1月17日)	2,524	20		1.4	—	96.3		196	
123期(2020年2月17日)	2,229	20	△	10.9	—	97.0		169	
124期(2020年3月17日)	1,111	20	△	49.3	—	96.9		98	
125期(2020年4月17日)	1,186	7		7.4	—	96.7		111	
126期(2020年5月18日)	1,287	7		9.1	—	96.8		119	
127期(2020年6月17日)	1,561	7		21.8	—	97.0		145	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

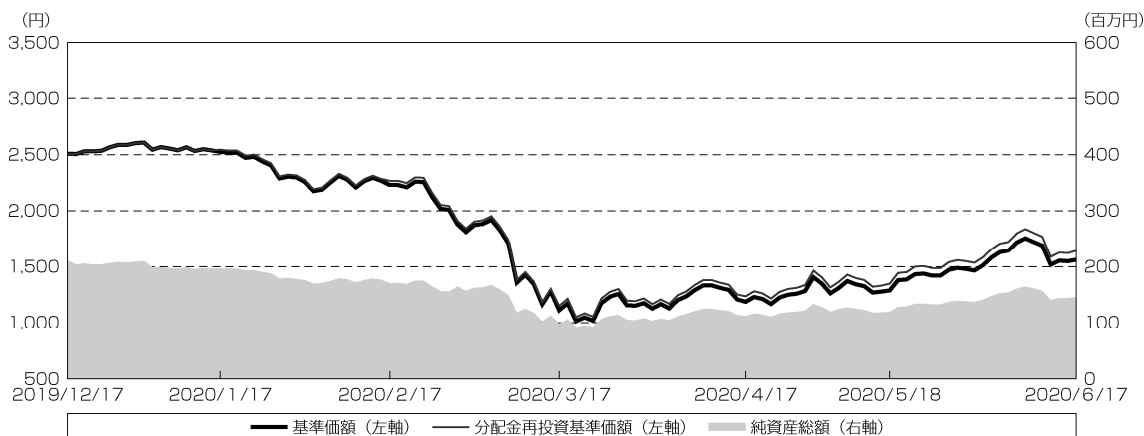
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第122期	(期 首) 2019年12月17日	円 2,508		% —	% 92.7
	12月末	2,607		3.9	93.9
	(期 末) 2020年1月17日	2,544		1.4	96.3
第123期	(期 首) 2020年1月17日	2,524		—	96.3
	1月末	2,256		△10.6	96.0
	(期 末) 2020年2月17日	2,249		△10.9	97.0
第124期	(期 首) 2020年2月17日	2,229		—	97.0
	2月末	1,878		△15.7	83.6
	(期 末) 2020年3月17日	1,131		△49.3	96.9
第125期	(期 首) 2020年3月17日	1,111		—	96.9
	3月末	1,152		3.7	96.7
	(期 末) 2020年4月17日	1,193		7.4	96.7
第126期	(期 首) 2020年4月17日	1,186		—	96.7
	4月末	1,405		18.5	97.3
	(期 末) 2020年5月18日	1,294		9.1	96.8
第127期	(期 首) 2020年5月18日	1,287		—	96.8
	5月末	1,479		14.9	96.9
	(期 末) 2020年6月17日	1,568		21.8	97.0

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2019年12月18日～2020年6月17日)

## 作成期間中の基準価額等の推移



第122期首：2,508円  
 第127期末：1,561円 (既払分配金(税込み)：81円)  
 騰落率：△34.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年12月17日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界の資源株に実質的に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、南アフリカランド買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的に南アフリカランド建てで運用を行ないます。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・米中貿易協議での「第1段階」の原則合意により、今後の貿易協議の進展が期待されたこと。
- ・株式市場の下落などを受けて投資家がリスク回避姿勢を強めたことで金や銀の価格が上昇し、関連銘柄が値上がりしたこと。
- ・将来のインフレを想起させる主要国の景気刺激策や、鉱山開発や運営における燃料コストの低下から恩恵を受けるとみられ、特に金鉱に特化した鉱山銘柄が堅調となったこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞に対する警戒感から、資源や資源に関連する需要が一般的に抑制されるとの懸念が高まったこと。
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大や、主要産出国による追加減産が合意されなかったことなどを受けて原油の価格が下落したこと。
- ・南アフリカランドが対円で下落したこと。

## 投資環境

## (株式市況)

期間中の世界の株式市場では、米国や欧州、アジアの主要国の株価は総じて下落しました。また、当該期間中の資源銘柄および資源関連銘柄の株価も下落し、総じて世界の株式市場を下回るパフォーマンスとなりました。

期間の初めから2020年2月中旬にかけては、米中両政府が貿易協議の「第1段階」とされる合意文書に署名し、今後の米中貿易協議の進展が期待されたことや、発表された米国の主要企業の業績が好調だったことから、主要国の株価は総じて上昇しました。2月下旬から3月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染が中国から世界中に拡大し、世界経済の急激な停滞を招くとの警戒感が高まったことや、米国企業が国内外の出張を禁止するなど世界各国においてヒトやモノの移動を制限する動きが広がったこと、石油輸出国機構(OPEC)がロシアなどOPEC非加盟国と減産拡大で合意できなかったことを契機とした原油価格の急落などを背景に、主要国の株価は総じて下落しました。3月下旬から期間末にかけては、新型コロナウイルスの感染者数の増加ペースが鈍化し感染拡大がピークを越えつつあるとの観測から、経済活動の早期再開の見方が高まったこと、米連邦準備制度理事会(FRB)が新たな緊急資金の供給策を発表したこと、新型コロナウイルスのワクチン開発への期待が高まったことなどが株価の支援材料となり、主要国の株価は総じて上昇しました。

期間中の主要商品は総じて価格が下落しました。原油価格は下落しました。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大がグローバルの景気に悪影響を及ぼし原油需要が抑制されるとの懸念や、OPEC加盟国とそれ以外の主要産油国で構成するOPECプラスが追加減産で合意できなかったこと、サウジアラビアなどの主要産油国の増産計画が報じられたことなどを受けて下落しました。金価格は上昇しました。主要国の株式市場が総じて下落し市場のリスク回避姿勢が強まったことや、主要国の中央銀行による大規模な金融緩和策や、国際機関の世界経済成長率見通しの下方修正などを背景に相対的に安全資産とみなされる金を買う動きが先行し、金価格は上昇しました。主要穀物は、新型コロナウイルスの感染拡大で中国による農産物の購入が困難になるとの見方や、新型コロナウイルスの感染拡大による燃料需要の減少などを背景に、総じて価格が下落しました。非鉄金属についても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けたグローバルな景気停滞による需要全般の減少が懸念されたことから、総じて価格が下落しました。

## (国内短期金利市況)

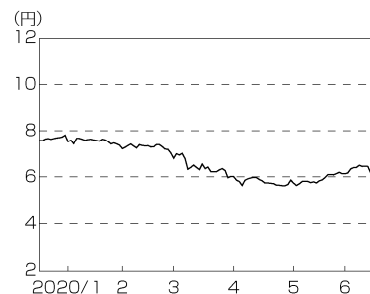
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.16%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.12%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における南アフリカランド(対円)は、右記の推移となりました。

円/南アフリカランドの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス)

期間中の主な投資行動としては、有望な成長見通しと回復力を有するビジネスモデルが評価される大手工業用ガス企業Air Products and Chemicalsや、強力な市場シェアを有し、成長機会とバリュエーション(株価評価)が魅力的なNomad Foods、水道インフラ分野での中長期的な成長の見通しが魅力的なXylemなどを新規に組み入れました。また、原油価格の急落やそれに伴う株価の低迷などを受けて、原油探索・生産(E & P)セクターなどのウェイトを引き上げました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で財務体質悪化の可能性があるAlcoa、化学製品の需要および販売価格面で逆風が吹いているBASFやDuPont de Nemoursなどを売却したほか、リチウム市場での供給過剰の懸念があるAlbemarleのポジションを、株価上昇の機会をとらえて削減しました。これらの銘柄の売却代金は、財務体質および事業見通しが堅固と評価されるBHP Groupや、景気減速局面においても回復力の早いビジネスモデルを有するLindeなどの購入に充てました。

また、原則として、南アフリカランド買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的に南アフリカランド建てで運用を行ないました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期	第127期
	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.786%	20 0.889%	20 1.768%	7 0.587%	7 0.541%	7 0.446%
当期の収益	—	—	—	—	—	—
当期の収益以外	20	20	20	7	7	7
翌期繰越分配対象額	6,265	6,245	6,226	6,219	6,212	6,205

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

## ○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス)

景気回復を巡る楽観的な見方が市場で支配的となり、投資資金の流入が促され、バリュエーションが上昇しています。緩やかな需要の回復が姿を見せ始める一方で、供給は低迷の継続という資源・資源関連セクターでも期待を抱かせるトレンドになっていますが、このトレンドをさらに下支えするには、最終的な回復の軌道とその大きさが確認される必要があると考えています。資源・資源関連セクターのバリュエーションは継続的な回復を反映しているように思われ、したがって、どのような形であれトレンドからの乖離が生じれば、2020年3月中旬の安値から継続している上昇相場後の調整局面入りという展開もありうるとみています。当ファンドでは、今後予想される回復基調の大半をすでに株価に織り込んだとみなされる銘柄の保有を減らしつつ、出遅れている銘柄や、リスク調整後の株価の上値余地が依然として魅力的と思われる銘柄に資金を振り向けていきたいと考えています。このような投資機会は、素材や農業といったほかの多くの業種に加えて、伝統的なエネルギーや鉱業などの業種にもまだ存在しています。

エネルギー分野への投資の大幅な減少は中長期的には供給の制約につながる可能性が高いことから、エネルギー・セクターは引き続きポートフォリオで大きな投資比率を占めていますが、エネルギー銘柄の多くは原油価格の継続的な上昇をすでに株価が織り込んでいると判断し、また、コモディティの供給が増加する可能性が高いと考えられるため、エクスポージャーを小幅に縮小しました。エネルギー・セクターでは、投資家の需要が一部の主要銘柄に集中していることがうかがえる一方で、多くの中小型銘柄のバリュエーションは依然として魅力的であることから、引き続き投資機会を見出していく方針です。他方、不確実性が継続するなかで、大規模な資本プロジェクトには新たなリスクと複雑さが伴うようになっています。このような環境下では、新規鉱山開発などの大型建設プロジェクトの減速や延期が予想され、各種貴金属・工業用金属の中期的な需給を引き締めていくことになる見通しです。需要の減少を背景に在庫が増加する可能性が高いものの、今後1～2年の間に需要は回復すると考えています。一方で、成長志向の設備投資は限定的であり、特に鉄鉱石のエクスポージャーが大きい企業の利益率が堅調に推移していることから、近い将来、配当や自社株買いによる株主還元拡大がより一層強まると考えられます。そのため、多角経営を進める鉱山企業の見通しは引き続き魅力的であり、これらの銘柄の保有を増やす投資機会を探っていく考えです。

また、原則として、南アフリカランド買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的に南アフリカランド建てで運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。



## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年12月18日～2020年6月17日)

項 目	第122期～第127期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	10	0.550	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 2 )	( 0.094 )	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 8 )	( 0.440 )	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 0 )	( 0.016 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.048	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	( 0.002 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 1 )	( 0.046 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0.000 )	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	11	0.598	
作成期間の平均基準価額は、1,796円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

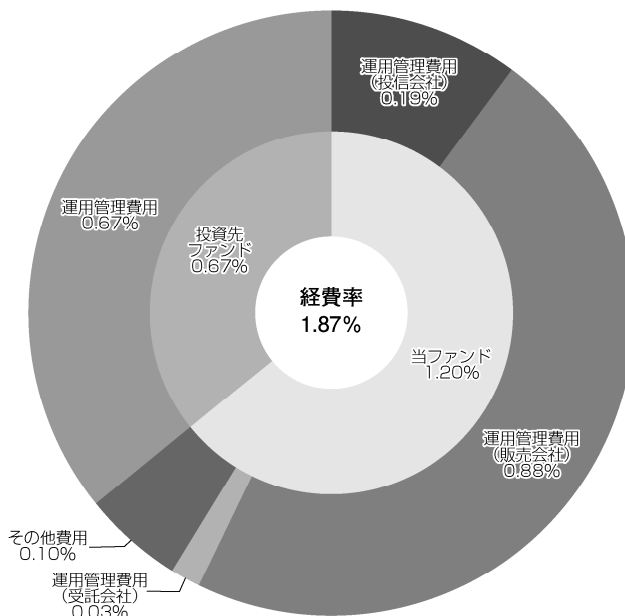
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬が発生する場合があります。

## (参考情報)

## ○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.87%です。



(単位：%)

経費率 (①+②)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年12月18日～2020年6月17日)

投資信託証券

銘柄		第122期～第127期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス	千口 356,350	千円 43,278	千口 212,931	千円 30,477

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		第122期～第127期			
		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 51	千円 51	千口 117	千円 118

○利害関係人との取引状況等

(2019年12月18日～2020年6月17日)

利害関係人との取引状況

<資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース> (毎月分配型) >

区分	第122期～第127期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 43	百万円 43	% 100.0	百万円 30	百万円 30	% 100.0
金銭信託	0.705278	0.705278	100.0	0.705278	0.705278	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

区分	第122期～第127期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 103	百万円 103	% 100.0	百万円 103	百万円 103	% 100.0

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2019年12月18日～2020年6月17日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況 (2019年12月18日～2020年6月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細 (2020年6月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	第121期末		第127期末	
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス	1,038,339	1,181,758	140,983	97.0
合計	1,038,339	1,181,758	140,983	97.0

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	第121期末		第127期末	
	口数	口数	評価額	比率
	千口	千口	千円	%
マネー・アカウント・マザーファンド	195	128	128	128

(注) 親投資信託の2020年6月17日現在の受益権総口数は、733,192千口です。

○投資信託財産の構成 (2020年6月17日現在)

項目	第127期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
	140,983	95.8
マネー・アカウント・マザーファンド	128	0.1
コール・ローン等、その他	6,035	4.1
投資信託財産総額	147,146	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第122期末	第123期末	第124期末	第125期末	第126期末	第127期末
	2020年1月17日現在	2020年2月17日現在	2020年3月17日現在	2020年4月17日現在	2020年5月18日現在	2020年6月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	198,487,522	175,292,648	101,320,070	113,001,794	120,444,779	147,146,929
コール・ローン等	9,188,947	5,516,250	4,989,124	4,196,472	4,262,354	6,034,149
投資信託受益証券(評価額)	189,104,146	164,853,399	94,968,886	107,775,290	115,433,150	140,983,799
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	194,429	171,047	123,310	112,210	120,693	128,981
未収入金	—	4,751,952	1,238,750	917,822	628,582	—
(B) 負債	2,132,992	5,304,125	3,315,574	1,602,282	1,225,894	1,748,772
未払金	—	—	1,264,048	687,201	—	552,184
未払収益分配金	1,555,833	1,525,158	1,764,394	657,609	648,668	652,027
未払解約金	265,048	3,472,750	7,069	—	298,487	239,313
未払信託報酬	190,536	169,960	132,450	101,204	112,637	127,973
未払利息	1	1	6	4	6	8
その他未払費用	121,574	136,256	147,607	156,264	166,096	177,267
(C) 純資産総額(A-B)	196,354,530	169,988,523	98,004,496	111,399,512	119,218,885	145,398,157
元本	777,916,906	762,579,059	882,197,241	939,442,559	926,668,577	931,468,293
次期繰越損益金	△581,562,376	△592,590,536	△784,192,745	△828,043,047	△807,449,692	△786,070,136
(D) 受益権総口数	777,916,906口	762,579,059口	882,197,241口	939,442,559口	926,668,577口	931,468,293口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,524円	2,229円	1,111円	1,186円	1,287円	1,561円

(注) 当ファンドの第122期首元本額は839,896,537円、第122～127期中追加設定元本額は285,247,161円、第122～127期中一部解約元本額は193,675,405円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第122期0.2524円、第123期0.2229円、第124期0.1111円、第125期0.1186円、第126期0.1287円、第127期0.1561円です。

(注) 2020年6月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は786,070,136円です。

○損益の状況

項 目	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期	第127期
	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 349	△ 43	△ 103	△ 58	△ 104	△ 176
受取利息	-	-	-	3	-	-
支払利息	△ 349	△ 43	△ 103	△ 61	△ 104	△ 176
(B) 有価証券売買損益	2,928,559	△ 20,528,171	△ 93,055,751	7,539,585	10,012,186	25,869,971
売買益	3,291,729	740,661	549,461	7,576,557	10,378,832	26,492,486
売買損	△ 363,170	△ 21,268,832	△ 93,605,212	△ 36,972	△ 366,646	△ 622,515
(C) 信託報酬等	△ 207,838	△ 185,393	△ 144,470	△ 110,382	△ 122,861	△ 139,586
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,720,372	△ 20,713,607	△ 93,200,324	7,429,145	9,889,221	25,730,209
(E) 前期繰越損益金	△ 53,403,549	△ 48,780,981	△ 68,458,044	△ 160,720,977	△ 148,508,033	△ 135,987,975
(F) 追加信託差損益金	△ 529,323,366	△ 521,570,790	△ 620,769,983	△ 674,093,606	△ 668,182,212	△ 675,160,343
(配当等相当額)	( 488,993,298)	( 477,827,501)	( 551,030,149)	( 584,909,108)	( 576,303,537)	( 578,635,799)
(売買損益相当額)	(△1,018,316,664)	(△999,398,291)	(△1,171,800,132)	(△1,259,002,714)	(△1,244,485,749)	(△1,253,796,142)
(G) 計(D+E+F)	△ 580,006,543	△ 591,065,378	△ 782,428,351	△ 827,385,438	△ 806,801,024	△ 785,418,109
(H) 収益分配金	△ 1,555,833	△ 1,525,158	△ 1,764,394	△ 657,609	△ 648,668	△ 652,027
次期繰越損益金(G+H)	△ 581,562,376	△ 592,590,536	△ 784,192,745	△ 828,043,047	△ 807,449,692	△ 786,070,136
追加信託差損益金	△ 530,879,199	△ 523,095,948	△ 622,534,377	△ 674,751,215	△ 668,830,880	△ 675,812,370
(配当等相当額)	( 487,437,465)	( 476,302,343)	( 549,265,755)	( 584,251,499)	( 575,654,869)	( 577,983,772)
(売買損益相当額)	(△1,018,316,664)	(△999,398,291)	(△1,171,800,132)	(△1,259,002,714)	(△1,244,485,749)	(△1,253,796,142)
繰越損益金	△ 50,683,177	△ 69,494,588	△ 161,658,368	△ 153,291,832	△ 138,618,812	△ 110,257,766

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2019年12月18日～2020年6月17日)は以下の通りです。

項 目	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日	2020年5月19日～ 2020年6月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	488,993,298円	477,827,501円	551,030,149円	584,909,108円	576,303,537円	578,635,799円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	488,993,298円	477,827,501円	551,030,149円	584,909,108円	576,303,537円	578,635,799円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	6,285円	6,265円	6,246円	6,226円	6,219円	6,212円
g. 分配金	1,555,833円	1,525,158円	1,764,394円	657,609円	648,668円	652,027円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	7円	7円	7円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第122期	第123期	第124期	第125期	第126期	第127期
1万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	7円	7円	7円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2019年12月18日から2020年6月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
<b>運用の基本方針</b>		
基本方針	信託財産の中長期的な成長をめざします。	
主な投資対象	世界の米ドル建て資源関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の米ドル建て資源関連株式(預託証券を含みます。)を主要投資対象とします。</li> <li>・銘柄選択にあたっては、企業の財務データなどに基づく定量分析と業界内での競争力や経営者のマネジメント能力の評価といった定性分析を実施します。</li> <li>・原則として、純資産総額と同額程度の南アフリカランド買い/米ドル売りの為替取引を行いません。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合に制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</li> </ul>	
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行いません。 なお、管理会社の判断により収益分配を行わないことがあります。	
<b>ファンドに係る費用</b>		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.71%以内 (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
<b>その他</b>		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	2109年12月31日まで	
決算日	原則として、毎年2月末日	



○貸借対照表

ナチュラル・リソース・ファンド

2020年2月29日現在  
(日本円で表示)

<b>資産</b>	
投資（公正価値）（取得原価：40,250,527,365円）	29,970,610,804
現金	112,911,858
外貨（取得原価：204,279,076円）	169,261,204
ブローカーからの未収金	1,926,468,447
為替先渡契約に係る未実現利益	1,283,604,048
投資売却に係る未収金	142,946,282
発行済受益証券に係る未収金	425,821
未収配当	99,775,645
<b>資産合計</b>	<b>33,706,004,109</b>
<b>負債</b>	
クレジット・ファシリティ・ローン（手取金：2,083,334,821円）	2,049,434,517
外国為替先渡契約に係る未実現損	3,586,036,487
買戻受益証券に係る未払金	135,387,720
未払運用報酬	62,505,778
その他未払報酬および費用	19,564,596
<b>負債合計</b>	<b>5,852,929,098</b>
<b>純資産</b>	<b>27,853,075,011</b>
受益証券1口あたりの純資産－豪ドル・クラス受益証券（純資産2,048,289,301円、受益証券残高数15,643,414,568口に基づく）	JPY 0.1309
受益証券1口あたりの純資産－ブラジル・レアル・クラス受益証券（純資産21,578,420,753円、受益証券残高数179,399,918,461口に基づく）	JPY 0.1203
受益証券1口あたりの純資産－南アフリカ・ランド・クラス受益証券（純資産2,678,770,502円、受益証券残高数19,862,205,953口に基づく）	JPY 0.1349
受益証券1口あたりの純資産－日本円クラス受益証券（純資産20,564,764円、受益証券残高数45,333,464口に基づく）	JPY 0.4536
受益証券1口あたりの純資産－トルコ・リラ・クラス受益証券（純資産40,013,505円、受益証券残高数294,635,682口に基づく）	JPY 0.1358
受益証券1口あたりの純資産－メキシコ・ペソ・クラス受益証券（純資産21,249,348円、受益証券残高数74,266,174口に基づく）	JPY 0.2861
受益証券1口あたりの純資産－米ドル・クラス受益証券（純資産1,465,766,838円、受益証券残高数3,875,868,171口に基づく）	JPY 0.3782

## ○損益計算書

### ナチュラル・リソース・ファンド

2020年2月29日に終了した年度  
(日本円で表示)

#### 投資収益

配当収入 (源泉徴収税275,470,894円控除後)	1,590,049,253
受取利息	25,254,790
その他収益	241,356,881
投資収益合計	<u>1,856,660,924</u>

#### 費用

支払利息	7,820,750
管理報酬	20,824,156
運用報酬	300,778,078
専門家報酬	8,346,941
受託者報酬	3,941,197
保管報酬	27,649,203
クレジット・ファシリティ手数料	47,317,358
その他報酬および費用	992,056
投資費用合計	<u>417,669,739</u>

投資純利益	<u>1,438,991,185</u>
-------	----------------------

#### 実現純損失および未実現利益の変動額

実現純損失	
投資有価証券およびローン	(2,854,583,814)
外貨取引および為替先渡契約	(3,504,794,081)
実現純損失	<u>(6,359,377,895)</u>

#### 未実現評価損の純変動額

投資有価証券およびローン	(9,503,131,365)
外貨取引および為替先渡契約	(2,760,348,539)
未実現評価損の純変動額	<u>(12,263,479,904)</u>

実現純損失および未実現利益の変動額	<u>(18,622,857,799)</u>
-------------------	-------------------------

運用による純資産の純減少額	<u>(17,183,866,614)</u>
---------------	-------------------------

## ○投資ポートフォリオ

### ナチュラル・リソース・ファンド

2020年2月29日現在

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>オーストラリア (1.07%)</b>				
各種金属・鉱業 (1.07%) (取得原価: 460,149,121 円)				
USD	South 32 Ltd.	390,534	297,907,264	1.07
オーストラリア合計 (取得原価: 460,149,121 円)			297,907,264	1.07
<b>バミューダ (0.71%)</b>				
農業 (0.71%) (取得原価: 281,000,760 円)				
USD	Bunge Ltd.	38,832	196,655,367	0.71
バミューダ合計 (取得原価: 281,000,760 円)			196,655,367	0.71
<b>ブラジル (0.43%)</b>				
石油・ガス (0.43%) (取得原価: 123,825,713 円)				
USD	Petroleo Brasileiros SA ADR	91,149	118,964,594	0.43
ブラジル合計 (取得原価: 123,825,713 円)			118,964,594	0.43
<b>カナダ (17.77%)</b>				
化学 (4.67%) (取得原価: 2,161,703,534 円)				
USD	Nutrien Ltd.	298,059	1,299,830,768	4.67
鉱業 (9.93%) (取得原価: 2,582,019,477 円)				
USD	Agnico Eagle Mines Ltd.	110,282	565,396,209	2.03
USD	Alamos Gold Inc	705,164	443,444,357	1.59
USD	B2Gold Corp	1,698,129	730,842,881	2.62
USD	Barrick Gold Corp	368,004	755,787,890	2.71

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
カナダ (17.77%) (続き)				
鉱業 (9.93%) (続き)				
USD	Teck Resources Ltd. Class B	250,326	273,254,244	0.98
	<b>鉱業合計</b>		<b>2,768,725,581</b>	<b>9.93</b>
石油・ガス (3.17%) (取得原価：1,093,624,815 円)				
USD	Canadian Natural Resources Ltd.	126,032	350,736,512	1.26
USD	Suncor Energy Inc	179,065	533,091,220	1.91
	<b>石油・ガス合計</b>		<b>883,827,732</b>	<b>3.17</b>
	<b>カナダ合計 (取得原価：5,837,347,826 円)</b>		<b>4,952,384,081</b>	<b>17.77</b>
中国 (0.49%)				
石油・ガス (0.49%) (取得原価：201,067,141 円)				
USD	China Petroleum & Chemical Corp ADR	24,743	137,555,264	0.49
	<b>中国合計 (取得原価：201,067,141 円)</b>		<b>137,555,264</b>	<b>0.49</b>
キュラソー (3.69%)				
石油・ガス (3.69%) (取得原価：1,898,778,076 円)				
USD	Schlumberger Ltd.	351,758	1,027,858,743	3.69
	<b>キュラソー合計 (取得原価：1,898,778,076 円)</b>		<b>1,027,858,743</b>	<b>3.69</b>
フランス (3.58%)				
石油・ガス (3.58%) (取得原価：1,293,618,037 円)				
USD	Total S.A ADR	214,288	997,145,282	3.58
	<b>フランス合計 (取得原価：1,293,618,037 円)</b>		<b>997,145,282</b>	<b>3.58</b>

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	ドイツ (0.96%)			
	化学 (0.96%) (取得原価 : 382,764,384 円)			
USD	BASF AG	169,105	267,588,231	0.96
	ドイツ合計 (取得原価 : 382,764,384 円)		267,588,231	0.96
	アイルランド (0.93%)			
	化学 (0.93%) (取得原価 : 227,931,547 円)			
USD	Linde Plc	12,513	257,808,952	0.93
	アイルランド合計 (取得原価 : 227,931,547 円)		257,808,952	0.93
	オランダ (3.43%)			
	石油・ガス (3.43%) (取得原価 : 1,295,064,420 円)			
USD	Royal Dutch Shell Plc ADR Class A	201,042	954,807,733	3.43
	オランダ (取得原価 : 1,295,064,420 円)		954,807,733	3.43
	ロシア連邦 (2.23%)			
	石油・ガス (2.23%) (取得原価 : 465,356,664 円)			
USD	Lukoil OAO ADR	66,674	620,939,091	2.23
	ロシア連邦合計 (取得原価 : 465,356,664 円)		620,939,091	2.23

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>南アフリカ (1.58%)</b>				
<b>鉱業 (1.58%) (取得原価 : 277,833,483 円)</b>				
USD	AngloGold Ashanti Ltd.	233,310	439,148,673	1.58
<b>南アフリカ合計 (取得原価 : 277,833,483 円)</b>			<b>439,148,673</b>	<b>1.58</b>
<b>英国 (19.61%)</b>				
<b>鉱業 (15.08%) (取得原価 : 4,583,480,843 円)</b>				
USD	Anglo American Plc ADR	-	1,022,675,025	3.67
USD	BHP Billiton Plc ADR	428,879	1,679,276,393	6.03
USD	Rio Tinto Plc ADR	296,204	1,499,416,160	5.38
<b>鉱業合計</b>			<b>4,201,367,578</b>	<b>15.08</b>
<b>石油・ガス (2.75%) (取得原価 : 972,284,975 円)</b>				
USD	BP Plc ADR	226,757	765,326,429	2.75
<b>石油・ガス合計</b>			<b>765,326,429</b>	<b>2.75</b>
<b>石油サービス (1.78%) (取得原価 : 843,195,715 円)</b>				
USD	Technipfmc Ltd.	309,913	496,085,474	1.78
<b>英国合計 (取得原価 : 6,398,961,533 円)</b>			<b>5,462,779,481</b>	<b>19.61</b>
<b>米国 (51.13%)</b>				
<b>農業 (1.56%) (取得原価 : 522,819,663 円)</b>				
USD	Archer-Daniels-Midland Co	107,162	435,197,345	1.56

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>米国 (51.13%) (続き)</b>				
<b>化学 (5.46%) (取得原価 : 1,939,574,251 円)</b>				
USD	Albemarle	34,565	305,165,681	1.10
USD	CF Industries Holdings Inc	78,479	312,024,888	1.12
USD	Corteva Inc	183,538	538,488,617	1.93
USD	DowDupont	40,977	189,617,273	0.68
USD	Mosaic Co	95,489	175,407,611	0.63
	<b>化学合計</b>		<b>1,520,704,070</b>	<b>5.46</b>
<b>林産品・製紙 (2.54%) (取得原価 : 1,027,983,406 円)</b>				
USD	International Paper Co	177,557	707,864,622	2.54
<b>鉄・鉄鋼 (1.65%) (取得原価 : 682,412,105 円)</b>				
USD	Nucor Corp	103,130	459,982,148	1.65
<b>鉱業 (5.07%) (取得原価 : 1,798,658,629 円)</b>				
USD	Alcoa Corp	51,404	76,904,865	0.28
USD	Freeport-McMoRan Inc	558,740	600,274,020	2.16
USD	Newmont Mining Corp	100,687	484,709,461	1.74
USD	Southern Copper Corp	67,984	246,758,562	0.89
	<b>鉱業合計</b>		<b>1,408,646,908</b>	<b>5.07</b>
<b>石油・ガス (21.17%) (取得原価 : 8,812,588,106 円)</b>				
USD	Cabot Oil & Gas Corp	244,906	367,985,737	1.32
USD	Callon Petroleum Co	664,333	162,664,253	0.58
USD	Chevron Corp	103,928	1,046,359,238	3.76
USD	Concho Resources Inc	74,237	544,676,036	1.96
USD	ConocoPhillips	48,685	254,273,093	0.91
USD	Diamondback Energy Inc	75,667	506,032,781	1.82
USD	EOG Resources Inc	58,631	400,070,873	1.44

	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
<b>米国 (51.13%) (続き)</b>				
<b>石油・ガス (21.17%) (続き)</b>				
USD	Exxon Mobil Corp	160,664	891,490,953	3.20
USD	Hess Corp	17,026	103,175,078	0.37
USD	Marathon Petroleum Corp	64,508	329,955,653	1.18
USD	Occidental Petroleum Corp	129,700	458,035,454	1.64
USD	Phillips 66	19,411	156,739,399	0.56
USD	Pioneer Natural Resources Co	21,966	290,910,271	1.04
USD	Valero Energy Corp	27,947	199,710,786	0.72
USD	William Companies Inc	89,847	184,620,109	0.67
	<b>石油・ガス合計</b>		<b>5,896,699,714</b>	<b>21.17</b>
<b>石油・ガスサービス (2.04%) (取得原価 : 1,086,846,987 円)</b>				
USD	Cactus Inc	48,597	143,156,676	0.51
USD	Liberty Oilfield Services Inc	391,117	282,236,551	1.01
USD	Patterson UTI Energy Inc	234,345	144,840,747	0.52
	<b>石油・ガスサービス合計</b>		<b>570,233,974</b>	<b>2.04</b>
<b>石油サービス (5.89%) (取得原価 : 3,183,169,298 円)</b>				
USD	Baker Hughes Inc	270,886	470,135,502	1.69
USD	Dril-Quip Inc	25,622	98,443,578	0.35
USD	Haliburton Co	394,953	722,523,058	2.59
USD	Oceaneering International Inc	130,418	148,271,811	0.53
USD	Oil States International Inc	237,723	202,828,103	0.73
	<b>石油サービス合計</b>		<b>1,642,202,052</b>	<b>5.89</b>
<b>包装・容器 (1.07%) (取得原価 : 339,925,351 円)</b>				
USD	Packaging Corp	30,376	296,917,016	1.07



	普通株式	額面保有額	公正価値 日本円	純資産に占める割合 (%)
	米国 (51.13%) (続き)			
	パイプライン (0.59%) (取得原価 : 154,191,271 円)			
USD	Oneok Inc	22,849	164,438,565	0.59
	不動産投資信託 (2.09%) (取得原価 : 714,295,945 円)			
USD	Weyerhaeuser Co	207,792	582,302,179	2.09
	鉄鋼 (1.43%) (取得原価 : 586,315,664 円)			
USD	Steel Dynamics Inc	138,664	398,306,009	1.43
	商社・流通業 (0.57%) (取得原価 : 258,047,984 円)			
USD	Univar Solutions Inc	84,891	155,573,446	0.57
	米国合計 (取得原価 : 21,106,828,660 円)		14,239,068,048	51.13
	普通株式合計 (取得原価 : 40,250,527,365 円)		29,970,610,804	107.61
	外国為替先渡契約		(2,302,432,439)	(8.27)
	金融資産純額合計		27,668,178,365	99.34
	その他の純資産		184,896,646	0.66
	純資産合計		27,853,075,011	100.00

## 外国為替先渡契約

2020年2月29日現在、ファンドはカストディアンに以下の外国為替先渡契約を保有していた。

契約金額 買建／(売建)	通貨	満期日	円貨受取／ (支払)	外貨受取／ (支払)	未実現(損)益
			日本円	日本円	日本円
(8,400,000)	Australian Dollar	02-Apr-20	615,498,435	(583,489,417)	32,009,018
(218,525,000)	Brazilian Real	02-Apr-20	5,500,100,018	(5,204,873,863)	295,226,155
(559,067)	Mexican Pesos	02-Apr-20	3,181,385	(3,023,691)	157,694
(100,039,171)	South African Rand	02-Apr-20	724,518,498	(681,076,668)	43,441,830
(824,659)	Turkish Lira	02-Apr-20	14,667,970	(13,971,879)	696,091
(347,008,205)	US Dollar	02-Apr-20	38,268,900,639	(37,356,827,379)	912,073,260
<b>外国為替先渡契約に係る未実現益</b>					<b>1,283,604,048</b>
39,000,000	Australian Dollar	02-Apr-20	(2,940,322,314)	2,709,058,006	(231,264,308)
1,198,759,195	Brazilian Real	02-Apr-20	(31,356,574,949)	28,552,295,626	(2,804,279,323)
4,673,518	Mexican Pesos	02-Apr-20	(27,447,504)	25,276,531	(2,170,973)
508,187,351	South African Rand	02-Apr-20	(3,858,046,755)	3,459,790,254	(398,256,501)
3,269,510	Turkish Lira	02-Apr-20	(60,501,749)	55,394,038	(5,107,711)
62,400,968	US Dollar	02-Apr-20	(6,862,672,546)	6,717,714,875	(144,957,671)
<b>外国為替先渡契約に係る未実現(損)</b>					<b>(3,586,036,487)</b>

円建以外の外国為替先渡契約は米ドル建のクロス外国為替先渡契約である。ただし、米ドル建の外国為替先渡契約は円とのクロス先渡契約である。

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第10期（決算日 2019年10月15日）  
（2018年10月13日～2019年10月15日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
6期(2015年10月13日)	円		%	%	百万円
	10,043		0.0	62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0	—	483
8期(2017年10月12日)	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2018年10月12日	10,032		—
10月末	10,032		0.0
11月末	10,032		0.0
12月末	10,031		△0.0
2019年1月末	10,031		△0.0
2月末	10,030		△0.0
3月末	10,030		△0.0
4月末	10,030		△0.0
5月末	10,029		△0.0
6月末	10,029		△0.0
7月末	10,028		△0.0
8月末	10,028		△0.0
9月末	10,028		△0.0
(期 末)			
2019年10月15日	10,028		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2018年10月13日～2019年10月15日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,032円の基準価額は、期間末に10,028円となり、騰落率は△0.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.01%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.31%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

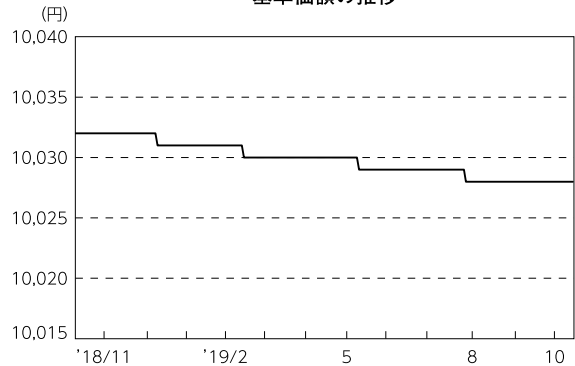
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2018/10/12	2018/10/15	2019/07/29	2019/10/15
10,032円	10,032円	10,028円	10,028円

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 1 (1)	% 0.005 (0.005)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	1	0.005	
期中の平均基準価額は、10,029円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2018年10月13日～2019年10月15日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
金銭信託	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0	百万円 6,648	百万円 6,648	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月13日～2019年10月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ○組入資産の明細

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2019年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 587,539	% 100.0
投資信託財産総額	587,539	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年10月15日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				587,539,135
	コール・ローン等			587,539,135
(B) 負債				566,667
	未払解約金			566,564
	未払利息			103
(C) 純資産総額(A-B)				586,972,468
	元本			585,356,899
	次期繰越損益金			1,615,569
(D) 受益権総口数				585,356,899口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,028円

(注) 当ファンドの期首元本額は594,074,221円、期中追加設定元本額は238,040,716円、期中一部解約元本額は246,758,038円です。

(注) 2019年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	206,424,997円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	623,465円
・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	202,343,309円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	519,821円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	20,897,941円	・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	484,618円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	20,061,866円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	466,936円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	13,870,727円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	454,107円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	11,942,765円	・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	434,138円
・エマーゼンダ・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	10,967,392円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	413,586円
・エマーゼンダ・プラス(マネーボールファンド)	10,557,157円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	377,932円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	10,368,109円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	361,850円
・世界標準債券ファンド	9,573,068円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	189,420円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	7,592,716円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	164,194円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	7,033,730円	・グローバル株式トップフォーカス	121,897円
・エマーゼンダ・プラス・成長戦略コース	6,712,463円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	109,758円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマーゼンダ)	99,902円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	5,813,207円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジあり	98,529円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	3,439,097円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	63,097円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	3,102,333円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	61,585円
・グリーン世銀債ファンド	2,959,931円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	53,524円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	2,620,710円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	37,483円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,534,133円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,763,739円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・エマーゼンダ・プラス・円戦略コース	1,734,939円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・SMB C・日興世銀債ファンド	1,691,081円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジなし	19,536円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,668,669円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	14,422円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	1,473,949円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型) 為替ヘッジなし	10,129円
・日興マナー・アカウント・ファンド	1,125,339円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,080,880円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,062,937円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,055,594円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	1,034,578円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型) 為替ヘッジあり	4,033円
・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	822,374円		
・日興グラビティ・ファンド	765,053円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0028円です。



## ○損益の状況

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項	目	当	期
(A) 配当等収益			円
	受取利息	△	226,411
	支払利息		1,324
(B) 保管費用等		△	227,735
(C) 当期損益金(A+B)		△	26,156
(D) 前期繰越損益金			252,567
(E) 追加信託差損益金			1,925,202
(F) 解約差損益金			688,138
(G) 計(C+D+E+F)		△	745,204
	次期繰越損益金(G)		1,615,569

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2018年10月13日から2019年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「[www.nikkoam.com/](http://www.nikkoam.com/)」へ変更するべく、2019年1月12日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第47条)